

青指ニュース

第 127 号

発行者

河内長野市青少年指導員連絡協議会
広報部<http://www.kawachinagano-seisyonen.org/seishikyo/>

学びの森 (7月31・8月1・2日)

実行委員長 西端 久喜

先日、お被いに行きまして参りました。どうも、西端です。

アメニモマケズ、さらに、アメニモマケズ。参加された皆様、お疲れ様でございました。

今年の学びの森は、「絆」をテーマに行いましたが、雨に降られ、ブルーシートが倒れ、参加者が倒れ、プログラムを変更し、と目白押しにトラブルに見舞われました。

しかしながら、参加スタッフの絆のおかげ！？で、大きなケガもなく、プログラムもほとんどこなし、帰ってこられました。

図らずも、私のような者に3年も実行委員長をさせていただきまして、3年間で台風に豪雨、出させていただきます。ありがとうございました。

これからの人生の宝にしたいと思います。

最後に駄筆ですが、毎年モメますわ～(-.-;) 私のまわりの方々にホンマ、モメてますわ～。

来年もがんばってモメます～(^o^)
ぬらりひょんさん、ろくろ首さん、そのままいける人さん、来年はお化けお願ひしま～す。



ジュニアキャンプ (8月22・23日)

レク部長 上田 傑

今年度の青少年指導員レク部会の事業の一つジュニアキャンプを8月22・23日河内長野市滝畑活動センターで、小学1～3年生までの児童80名、レク部員27名、応援の青指3名、ジョイスタッフ10名、青指OB1名、一般ボランティア1名の総勢120名余りで行いました。全スタッフの協力と天候に恵まれ、プール、キャンプファイアー、杉の焼き板作り、カレーライス自炊と無事業を終えることができました。今回参加の子どもたちは全体におとなしく素直な子が多くもう少し元気があってもいいかなと感じました。ただ、A型インフルエンザの影響で参加を取りやめざるを得なかったジョイスタッフ、急用で参加が遅れたレク部スタッフ、また、発熱のため泊まらず帰宅した児童等々、こういう事業でつきものいろいろなトラブルがありましたが、スタッフ全員の協力で難なく乗り越えられました。いまさらながらスタッフ全員のベクトルが「こども」なんだなと感心していました。

私はというと前年まで班スタッフしかしておら

ず事業や総務の仕事がわからずほとんど見てるだけの人になっていました。今回から全体を見る立場でありながら、分からないことや知らないことが多くて企画の段階から新しい企画や提案をすることもなく「前年通りで」を繰り返すだけで目新しいことができませんでした。そのため、この事業を終え帰りの車の中では反省点ばかり頭に浮かびました。来年のジュニアキャンプでは、子供達もスタッフもお互い楽しめるような企画や提案をして「参加して本当によかった」と思ってもらえる事業にしたいと考えています。どうぞ、来年もみなさまの協力をお願いいたします。



青指交流会開催 (6月14日)

青指約50名が河内長野市役所に9:00集合後、赤峰キャンプ場で研修部とレク部合同事業の「青指交流会」を行いました。この交流会は青指同士の交流を深める目的で2年に1度行われています。前回までは活動センターでゲームや講演会、自炊の講習を兼ねてのカレーライス作りを行っていましたが、今回、泰中研修部長の発案で『雨天時中止になっても食材が無駄にならない』各班の料理の違いがおもしろい』等の理由から各班3000円以内で自由なメニューを決め食材の買出しから自炊することになりました。この方法は各班で知恵を絞り班員同士の意見調整や創意工夫の跡がみられ、ほぼ全員『面白かった』とのことで概ね好評でした。交流ゲームも和気あいあいと行われ、マイ箸、スプーン作りも

冗談を言い合いながら楽しげに作業できていました。作業中に赤峰広場で演奏練習をしていた若者2人からオカリナとギターの生演奏という差し入れもあり竹細工作業の疲れをひととき忘れることもありました。なにはともあれ怪我をする方もおられず好天に恵まれ良い交流会だったとおもいます。当日、参加いただいた方々ごころうさまでした。所用で参加できなかった青指の方々も再来年は是非とも参加をお願いいたします。



救命救急講習会 (7月12日)

救命救急は、できるだけ隔年で受講したほうが良いでしょう。3年以上の間隔が空くと、本番に遭遇した時に直ぐ対応出来るか、自信のある人は少ないのではないのでしょうか。AEDの機器も複数あるので、単なる講習で終わらせるのではなく、実践に即したものにすることは、間隔を短くした受講に努めるべきです。研修部は啓蒙に努めるようにすべきです。キャンプで、

受講したことを使うようなことが、起こらないのが良いので、無駄で終わるようにしたいものです。



第18回青少年音楽フェスティバル

11月22日(日) 13:00 開演

13組の出演グループ、1名の企画スタッフと一緒に11月22日(日)の本番に向けてスタートしました。今回は、出演者の通学する高校でも学級閉鎖・学年閉鎖が発生するなど新型インフルエンザ感染が増加していますので、消毒液使用の徹底、感染または感染の疑いのあるグループの練習参加を中止してもらう等の感染防止の対策をしながら頑張っていきますので

ご協力をお願いします。(実行委員長 池西裕二)

出演バンド

MARIONETTE、 Red Oak、 ぴんきーぴゅー
 びる、 Melodious Tune、 奏月、 大口琢也、
 BROKEN HEARTS、 KNIGHT ERRANK、
 ガリ〜ピース、 THE OSCAR HANG OVER、
 Larry'z、 Small Lunch Box、 お蕎麦屋サンバ

各校区の活動 加賀田中学校区

多くの踊り手さんの参加で、櫓の回りの輪が3重にもなる賑やかな盆踊りでした。

今後の予定

活動と今後の予定

7月18日(土) 納涼映画祭

例年に比べ多くの参加者があり、模擬店も大繁盛でした。映画はグランドで上映の為、暗くなってから始まります。また加賀田公民館では、模擬店が始まる前に“読み聞かせ”“紙芝居”“手品”“民話”などをボランティアの方々の催しもあります。

8月16日(日) 加賀田連合町会盆踊り大会

10月11日(日)	加賀田フェスティバル本祭
11月23日(祝)	お江戸リッパ
12月19日(土)	餅つき



千代田中学校区

小学生対象に新規事業を実施！

千代田は毎年いもの植え付けと収穫を楽習室として実施していますが、今年はさらに新しい事業を追加しました。千代田小学校と楠小学校の児童を対象に、夏休みが終わった後の9月13日に、「工作をしてみんなで遊ぼう」と題して、木のキーホルダーとブーメランを作りをしました。キーホルダーは、木の枝を斜めに切ったものに絵を描いたり、ポンドでビーズや色の砂などを貼り付けたりして各自で工夫をしました。ブーメランは型紙を切り抜いて翼の調整をしてから、屋外で飛ばしたのですが、うまく飛ばない子もあり、指導員から翼の調整や投げ方の指導を受けながらみんなで飛ばしました。

参加者への案内はこれだけだったのですが、この後、お楽しみメニューとして、おやつ配付とアニメの鑑賞をして、参加者児童 68 人・保護者等 47 人、みんな大喜びの催しとなりました。次は 10 月 25 日千代田バラエティフェスタへの出店と、11 月 1 日いよいよサツマイモの収穫です。これからも千代田は爆発です。(前田)



長野中学校区

2009 サマーキャンプ in 滝畑

7月18日～19日、健全育成会主催のサマーキャンプが滝畑活動センターで実施されました。青指からは2名が参加し、子どもたちが捕まえてきたアマゴを焼いたり、夕食のバーベキュー作りのお手伝いをしました。参加した子どもたちから「ごはんがうまうま炊けていておいしい！」と喜んでもらえて、こちらもうれしくなりました。都合で、1日だけの参加でしたが、充実した時間を過ごすことができました。

楽習室

6月21日長野小学校(114名)、27日小山田小学校(63名)で楽習室を行いました。今回は紙粘土で壁掛けを作りました。多数の参加者に

嬉しい悲鳴をあげながら、ボランティアの粘土の先生をお願いし、青指メンバーはもとより健全育成会やPTAの方達の多くの応援もあり無事終わることが出来ました。

粘土は赤、黄、青、白の4色で色の混ぜ具合に試行錯誤しながらそれぞれ思い思いの作品を作りました。私達大人もビックリするくらいの立派な作品がたくさんあり子どもの発想はすごいな～と感心させられました。



東中学校区

清見台まつりでバルーン 8月8日(土)

この日も朝からの猛暑!! 準備中から汗・汗・汗・・・が滝のように～。

他校区から2名のお手伝いをお願いして、和気あいあいとスタート。

オープン早々から大盛況!! 又、子どもの熱気でヒートアップ状態はエンドレスでした。赤ちゃん(ママが喜んでたね)～お年寄りまで、バルーンを楽しんでもらえました。暑さの中の「かき氷」は最高でした。(2回も食べてしまった～)

心配した3年連続の大雨に見舞われる事もなく、1500本のバルーンは皆の笑顔と共に終了しました。今年の参加スタッフは雨男&雨女でもないことを確認出来ました。(笑)

天見小学校で楽習室 6月27日(土)

当日は13名とちょっと少ない参加者数でしたが、「レンジでお餅」作りに挑戦しました。

私達もこのプログラムは2回目ということもあり、スムーズに進行することが出来ました。

子どもたちはもちろん引率された保護者の方々や先生方も一緒に参加していただき、にぎやかに楽しくお餅作りを体験しました。

出来立てのお餅をみんなでおいしく食したあと、子どもたちはたくさんのお餅を作れたので「お土産に持って帰る」と嬉しそうでした。



美加の台中学校区

「恒例 夏祭り」に参加

7/20(月): 当初19日開催予定でしたが、雨のため順延、また3連休最後の日となりましたが、沢山の来場者で賑わいました。

当校区は、スライム・フライドポテト・フランクフルトと3本立てで挑みました。昨年同様、ボランティアとして中学生リーダークラブも盛んに取り組んでくれました。スライムを担当してくれた彼らのパワーには圧倒されっぱなしで、我々も負けじとポテト揚げ調理器2台をフル稼働! あっという間にフランクも合わせて完売という結果となりました。

夏祭りを通し、人と人との繋がりを再認識した一日でした。ご協力頂きました皆さん、ご苦労様でした。また、来年も頑張ります。

「親子ふれあい」に参加

8/22(土): 例年通り、我々青指スタッフは定番のフランクフルトのお手伝いに奮闘しました。今回はゆでたフランクフルトをホットプレートで調理ということで、焼き加減・保温とスムーズに事が運び、絶妙のタイミングで来場者に渡す事が出来ました。少子化の渦中、年々児童が減る中、美加の台校区もその様相が表れてきていますが、趣向を凝らし沢山の子どもたちが参加してくれる事を願っています。



西中学校区

護身術教室 デイキャンプ

8月22日(土)小深でデイキャンプが実施されました。護身術教室の子ども10名、青指2名、保護者7名が参加しました。曇りのち雨の予報で迎えた当日、予報はウソのように快晴。眩しい太陽が子どもたちを照らしていよいよスタート!

子どもたちは午前中に川遊びやマスのつかみ取りに挑戦し、ワイワイガヤガヤ騒ぎながら一生懸命に放流されたマスを追いかけていました。取った魚はその場で割りばしを使って内臓を取り出しました。初めての体験で興味津々に作業をしていました。お昼はお待ちかねのバーベキュー。お肉や野菜だけでなく、午前中に捕まえたマスを塩焼きにして頂きました。

元気いっぱい体を動かした後で、みんなモリモリ! 準備した食材を全て完食しました。

午後には小雨がパラつきましたが、子どもたちの元気パワーで雨雲も消えていきました。短い時間でしたが、楽しい一日に子どもたちは大喜びでした。(武田)



南花台中学校区

南花台夏祭り開催

8月7日(金)、8日(土)に南花台中学校区恒例の南花台夏祭りが開催されました。

8月7日は子ども会が中心に運営する子ども祭りで、青指は定番となった「バルーンアート」で参加しました。今年はピカチュウにも挑戦し、レポートリーが少し増えました。子どもたちの間では特に「かさ」の人气が高く、出来上りを待つ子どもでいっぱい状態、予定の2時間があっという間に過ぎてしまいました。

8月8日の本祭りには、これも定番となった

「当て物」の店を出しました。当て物は人気が高く、1000個用意した商品が、打ち上げ花火の上がる9時頃には完売となりました。1等、2等の大物が比較的早い時間に出てしまい最後は少し寂しくなったので、次はもう少し時間配分を考えたいと思います。

